

## 地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 10 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、地理 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

[ I ] 世界の気候区分における地中海性気候区とそれに属する地域が、地理上の地中海沿岸地域に必ずしも限定されるものではないことは、よく知られている。この気候区に属する世界の各都市に関する a)～e) の文章を読んだうえで、以下の問いに答えよ。

- a)  は、人口規模でこの国第三位の都市である。海峡を隔てて相對し、近年經濟問題が世界的に大きく取りざたされる EU 加盟国  の歴史的過去に起源するさまざまな文化遺産にも恵まれており、その立地上 NATO の重要基地が存在することでもよく知られている。
- b)  は、この国におけるユネスコ世界遺産の一つに指定されている。隣接して立地する観光保養都市ヴィニャ・デル・マールとは対照的に、当該都市は港湾機能とともに、国家的に重要なこの国の  機能をあわせ持っている。
- c)  は、大陸西南部に位置する人口第四位の地方中心都市のひとつである。移民国として、この都市も同国内の他の都市同様、欧州だけでなくアジア地域からも多数の移民を受け入れている。他方、近年この国の旧宗主国である  からの移民の割合が同国の都市では最も高い水準にあることは、この都市の特性の一つといえる。
- d)  は大陸南端部に位置し、2010 年にはある世界的なスポーツ大会も開催された最大都市  に次いで、この国第二の經濟圏を形成している。 による植民地時代から継続する広域拠点的な港湾機能を有していることでも知られる。

- e)  は、この国西部地域の経済発展上で重要な一拠点であり、現在も同州の州都としての行政機能を担う。果樹栽培および醸造業で名高い  も比較的近く、またこの都市の郊外に位置する同州立大学分校は、特に生物・農業関連分野が充実しているとされる。

問 1 空欄  ～  に当てはまる都市名を以下の語群から選び、記号をマークせよ。

語群

- |            |            |
|------------|------------|
| A パース      | B ベイルート    |
| C ケープタウン   | D アントファガスタ |
| E イズミル     | F ラスベガス    |
| G バルパライソ   | H サクラメント   |
| I メルボルン    | J サンノゼ     |
| K ダルエスサラーム |            |

問 2 空欄  ～  に該当する適切な語句を記入せよ。

〔Ⅱ〕 資源・エネルギーに関する以下の問いに答えよ。

問 1 以下の表は、石炭、鉄鉱石、および粗鋼それぞれの生産量について、世界全体に占める割合が上位となる 5 カ国とその割合を示したものである。この表に関連する以下の設問に答えよ。

( )内は、%

	石炭	鉄鉱石	粗鋼
第 1 位	中国 (56.5)	中国 (28.3)	中国 (48.5)
第 2 位	インド (8.7)	オーストラリア (22.7)	日本 (6.9)
第 3 位	アメリカ合衆国 (7.7)	ブラジル (18.5)	アメリカ合衆国 (5.4)
第 4 位	インドネシア (5.6)	インド (6.6)	インド (5.1)
第 5 位	オーストラリア (4.7)	ロシア (4.6)	ロシア (4.3)

統計年次は、石炭 2011 年、鉄鉱石 2012 年、粗鋼 2013 年。

出所：帝国書院編集部編『地理統計 2015 年版』により作成。

- (1) 石炭を産出する主要な炭田のほとんどは、ある大地形に分布している。その大地形の名称を、解答欄に記入せよ。
- (2) オーストラリアにある炭田名を、以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。
- A トランスヴァール                      B ルール  
C アパラチア                                D ボウエン
- (3) 石炭と鉄鉱石の最大輸入国は、共に同一の国である。その国名を、以下の選択肢から 1 つ選んでマークせよ。
- A 中国                      B 日本                      C インド                      D ロシア

問 2 以下の表は、日本とアメリカ合衆国を含む合計 6 カ国の、発電量の内訳を示したものである。この表に関連する以下の問いに答えよ。

( )内は、%

国名	火力	水力	原子力	新エネルギー他	合計
日本	89.0	8.1	1.5	1.4	100.0
(ア)	78.5	17.5	2.0	2.0	100.0
アメリカ合衆国	70.4	7.0	18.7	3.9	100.0
(イ)	67.2	4.4	15.8	12.6	100.0
(ウ)	23.2	60.0	15.0	1.8	100.0
(エ)	9.8	11.3	75.4	3.5	100.0

統計年次は 2012 年。

「新エネルギー他」は、風力、太陽光、地熱、潮力の合計。

出所：帝国書院編集部編『地理統計 2015 年版』により作成。

(1) (ア), (イ), (ウ)の 3 カ国の国名を、以下の選択肢から 1 つずつ選んでマークせよ。

A ドイツ            B フランス            C 中国            D カナダ

(2) 火力発電の燃料には石炭・石油・ガスなどがある。以下の 4 つの国の中で、火力発電の燃料に占める石炭の割合が最も高い国を 1 つ選んでマークせよ(2012 年時点)。

A イギリス            B インド            C イタリア            D 日本

問 3 以下の表の(ア)～(エ)には、4つの鉱物資源、すず鉱、ボーキサイト、銀鉱、銅鉱石の生産量、そして(オ)には、これら4つの鉱物資源のいずれか1つを精錬した地金の生産量について、それぞれの世界全体に占める割合が上位となる3カ国とその割合を示してある。この表に関連する以下の問いに答えよ。

( )内は、%

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
第1位	メキシコ (20.8)	オーストラリア (27.2)	チリ (31.6)	中国 (43.5)	中国 (46.3)
第2位	中国 (15.4)	インドネシア (18.7)	中国 (9.3)	インドネシア (17.4)	ロシア (7.8)
第3位	ペルー (13.5)	中国 (16.9)	ペルー (7.5)	ペルー (11.3)	カナダ (6.2)

統計年次は、「すず」のみ2012年、他は2013年。

出所：帝国書院編集部編『地理統計2015年版』により作成。

(1) (ア)～(エ)の4つの鉱物資源のうち、銅鉱はどれか。以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

A (ア)                      B (イ)                      C (ウ)                      D (エ)

(2) 表中の地金の(オ)は、4つの鉱物資源のうち、どれを精錬したものか。以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

A (ア)                      B (イ)                      C (ウ)                      D (エ)

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

人間の経済活動とその発展は、自然への適応とその利用の上に成り立っているが、他方で、環境破壊の一因ともなっている。今日、資源に限りがあること、また人類の今までの経済活動のあり方への自省として、砂漠化・地球温暖化・大気汚染等の環境問題へのとりくみが地球レベルで模索されている。

たとえば、南米のアマゾン川流域では、経済成長のため大規模な牧場開発や製鉄用燃料として熱帯林の乱伐がすすみ、「フィッシュボーン」と呼ばれるまでに森林が大幅に減少した。東南アジアでの熱帯林の破壊の一因には、工業製品として有用なチーク・ラワンなど一部の木材利用のために森林全体を伐採し、地域住民の生活基盤が奪われたため、住民の森林保全意識が欠けてきたことが大きい。現在、こうした森林破壊のすすんだ地域ではその再生のため、 と呼ばれる農業・林業の共生の試みがなされ始めている。

「砂漠化」防止の国際的課題は1992年に で開催された地球サミット・アジェンダ21で取り上げられたが、それ以前より 地域の砂漠化現象は深刻に進行していた。この地域の砂漠化は自然的環境に加え人為的条件の影響が大きい。この地域では人口が急増し、燃料としての薪の需要のため樹木の過伐採がすすみ、増加人口の食糧補充のため、土地を休閑させることなく同一作物を作付けする過耕作も進んだ。また、人口の増加にともない家畜頭数も増え、典型的には にみられるような過放牧状態となった。こうした問題に対処するため1996年に が発効され、国連食糧農業機関等により砂漠化防止のプロジェクトが進められている。たとえば では、アカシア植樹により土壌浸食を防止し、その種子を家畜の飼料として活用する試みがなされている。

広範な砂漠化問題と同様、国境を越えて人類の生活環境にかかわる問題として、大気酸性化の問題がある。酸性雨は、化石燃料の燃焼等により発生する化学物質の大気混入により生じる。1980年代まで、ヨーロッパの先進諸国でも森林の枯死、石造建築物の溶解、生態系の破壊などがみられ、典型的には の黒森で起きた酸性雨被害はヨーロッパ諸国への警鐘となった。国連

欧州経済委員会では、1979年に  条約を締結するなど欧州全体の大気汚染対策が練られているが、いまだ十分な効力を発揮していない。

経済成長の著しい中国・インドや発展途上国の都市では、工業化の進展にともない、大気汚染の問題が深刻化している。中国のエネルギーは石炭の占める率が高く、酸性雨や微小粒子状物質拡散の原因ともなっている。さらに、石炭・石油などの化石燃料の使用による二酸化炭素の上昇は、地球温暖化の一要因として考えられており、海面上昇による海岸線の侵食・国土の縮小が危惧されている  などの島嶼国にとっては、切迫した環境問題である。化石エネルギーの代替として家畜からえられるメタンガス、植物からえられるエタノールを利用した  エネルギーの開発の他、風力・地熱エネルギーの利用が注目されているが、いまだ各国の経済発展状況とも絡み、地球レベルの環境対策とはなっていない。

問 1  に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A アグロカルチャー
- B アグロフォレストリー
- C マルチアグリビジネス
- D マルチフォレストリー

問 2  に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A ヨハネスブルグ
- B 京都
- C リオデジャネイロ
- D ナイロビ

問 3  に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A アカタマ
- B サヘル
- C デカン
- D ナミブ

問 4  に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A ニジェール
- B チュニジア
- C コンゴ
- D リビア



問 5 5 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A バーゼル条約                      B グリーンベルト条約  
C 国連砂漠化対処条約                D 国際砂漠化保全条約

問 6 6 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A ソマリア                                B モザンビーク  
C エチオピア                              D マダガスカル

問 7 7 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A フランス            B イギリス            C ドイツ            D オランダ

問 8 8 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A 長距離越境大気汚染                B EU環境維持  
C 国際酸性雨防止                      D 欧州大気汚染防止

問 9 9 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A スリランカ                              B モルディブ  
C マダガスカル                          D インドネシア

問10 10 に最も適切な名称を以下の選択肢から1つ選んでマークせよ。

- A バイオマス                              B シェール  
C ノーカーボン                            D ハイブリッド

〔IV〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

世界の人口は19世紀まで穏やかに増加してきて1950年に25億人であったが、20世紀後半に増加の速度を増し、2010年には65億人を超えた。この傾向は収まることなく、21世紀中頃には90億人を突破する勢いである。地域的には、ヨーロッパの人口増が比較的ゆるやかであるのに対し、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの発展途上国では急激な上昇がみられる。近年の途上国の上昇は、高い出生率に対し医療や衛生面の進歩により死亡率が低下してきたためであり、途上国型人口問題<sup>(ア)</sup>を生じさせることとなった。一方、先進国においては、出生率が低下しつつも、低い死亡率と寿命の伸びのために、ゆるやかな人口増を示してきたが、最近では人口減少に転じる国も出ており、先進国型人口問題<sup>(イ)</sup>が生じている。フランスや北欧諸国では、こうした問題に対して、女性の社会進出を前提に、ワーク・ライフ・バランスを実現するような政策が有効に機能してきた。

日本も、こうした先進国型の人口問題がみられ、合計特殊出生率は2005年に1.26まで低下した。その後、1.4を少し上回る程度まで回復したものの、人口は減少に転じた。国全体として人口減少段階に入っても、東京一極集中といわれるように、大都市部には人口流入があるため、そこでの人口減はおだやかであり、人口増を示す地域もある。一方で、都市部以外での人口減少は著しい。過疎地では、住民の半数以上が65歳以上の高齢者となり、共同体の維持が困難となっている<sup>(ウ)</sup>ケースが増加しつつあり、深刻な問題となってきた。

問1 北欧の福祉国家は、先進国型人口問題への対策が顕著である。2010年、スウェーデンの合計特殊出生率はどれくらいか。以下の選択肢から最も近いものを一つ選んでマークせよ。

A 1.6

B 1.9

C 2.2

D 2.5

問 2 日本における先進国型人口問題への対策で、国際比較でみて最も遅れているものはどれか。以下の選択肢から一つ選んでマークせよ。

A 年金給付

B 医療サービス

C 公共交通

D 子育て支援

問 3 下線部(ア)を具体的に表現する、最も適切な用語を解答欄に記入せよ。

問 4 下線部(イ)を具体的に表現する、最も適切な用語を解答欄に記入せよ。

問 5 下線部(ウ)のようなところを何と呼ぶか。最も適切な用語を解答欄に記入せよ。

問 6 日本の過疎対策としては、具体的にどのようなものが考えられるか。50字以内で論じなさい。